

わかる授業を目指して

羽島高校では「わかる授業」を追求するため、教員の校内研修として教科ごとの授業研究を進めています。今回（7月18日）は現代文B（国語）の授業でした。

本時の目標は説明文を読み、全体の概要をつかみながら初読の感想を書くことです。アルバイトという生徒にとって身近な題材を用いて学習の動機付けをしました。普段何気なく使っていた言葉が「マニュアル言葉」や「バイト敬語」であったことを知った生徒たちは、言葉を適切に表現する力を身に付けたいと振り返っていました。

